



# 碧南ロータリークラブ週報

第3138回例会 令和7年8月20日(水)

- 会長 黒田 泰弘
- 幹事 永坂 誠司
- 会場監督(SAA) 長田 一希

2025-2026 年度  
国際ロータリー会長メッセージ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <https://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 会報委員 杉浦邦彦・長田康弘・杉浦秀延

**UNITE  
FOR  
GOOD**  
よいことのため  
に  
手を取りあおう

## ● 斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

## ● 本日のお弁当

大正館

## ● 本日のお客様

公益社団法人日本青年会議所 東海地区 愛知ブロック協議会  
2023 年度会長 杉浦晴太郎様、2023 年度運営専務 杉浦慶樹様、  
2023 年度渉外次長 角谷 瞬様

## 会 長 挨 拶

失礼致します。

お盆休みも終わりました、そろそろ秋の風もと言いたいところですが、本日も依然として猛暑続きということで、皆様もさぞかしお疲れが溜まっていることと思います。また、それに加えて、コロナの新しい変異株が増えつつあるとお聞きしておりますので、皆様、お体にはどうぞご自愛いただきたいと思ひます。



黒田泰弘会長

本日は卓話の講師として杉浦晴太郎様をお迎え致しました。カネニ味噌で親しまれておりました杉治株式会社様は、何を隠そう、我が社の創立のきっかけとなりました大恩ある会社様です。おそらく晴太郎様はご存知ないかと思いますが、私の祖父が渥美半島からこの地にやってきました、杉治様の南京袋を最初に手掛けたそうです。

その後、杉治様より「もっといろいろな品物も取り扱った方が良いのでは。」とアドバイスをいただきまして、金属、紙、ガラス、ゴムなどリサイクル品の幅を広げていったと聞いております。

本日の卓話の演題は「地域の青年会議所と日本青年会議所」とのことですが、青年会議所（通称 JC）は、我がクラブにおきましても所縁のある会員が大勢いらっしゃいます。しかしながら、愛知ブロック協議会の会長まで務められた方はほんの数人でございます。

過去を紐解きますと、1966年の岡部繁成様、1977年の榊原義嗣様、1997年の新美真司様、そして2023年の晴太郎様へとつながっております。愛知県の LOM は 33 箇所ございますので、単純計算におきましては 33 年に 1 回となる訳ですが、その頻度から申しますと早いペースだと思っております。

私の JC 時代の思い出としましては、碧海市構想参画委員会の委員長だけでしたが、それでも毎月碧海 5 市の地で同じ委員会のメンバーを集めた委員長サミットという事業をし、5 市の大運動会やグランドホテルでの締めの大大会など、結構大変でしたが、ブロック会長と聞きますと、ロータリークラブでの地区ガバナー同様、私も震えがくるような思いです。晴太郎様もさぞかしご尽力されたことと思います。

本日は我々の知らないお話もたくさん聞かせていただけるのではないかと、とても楽しみにしておりますので、よろしくお願い致します。また、本日は角谷信二会員、杉浦栄次会員のご子息もご参加いただいておりますので、サプライズ参加でご挨拶があるといけないので、私の話は短めにしておきます。

本日もよろしくお願い致します。

## 幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 第 2 回理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ ガバナー事務所より「国際大会（台北）地区ナイトのご案内」が届いております。
- ・ 8 月 27 日（水）は休会になりまして、次回の例会は 9 月 3 日（水）になりますので、よろしくお願い致します。
- ・ 9 月 3 日（水）の例会終了後に理事会を開催致しますので、理事、役員の皆様はご出席賜りますよう、よろしくお願い致します。



永坂誠司幹事

## 委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 59 名（内出席免除者 14 名の内出席者 12 名）出席者 48 名	
出席対象者 48 / 57 名	出席率 84.21%
欠席者 11 名（病欠者 0 名）	

## <ニコボックス>

- 鈴木 泰博君 よい事がありました。
- 木村 徳雄君 こんにちは。久しぶりに例会に来ました。毎日暑い日が続いてますが、体調管理をしてあと1ヶ月位、体をだいじにしてのりきりしましょう！
- 伊藤 正幸君 ドジャース大谷選手の41号ホームランをみてきました。
- 角谷 信二君 伊藤先生、大変お世話になりました。感謝！！  
本日、豚児がお邪魔しております。
- 山中 寛紀君 今月第1例会にて、初めて20年皆出席の花を頂きました。長い様であつと言う間の20年でした。遅くなりましたが御礼申し上げます。
- 新美 雅浩君 次男（27歳）は、文科省の国立教育政策研究所に3年ほど勤務しながら、英語教育の博士号を取得し、10月より国立豊田高専の専任講師で赴任することが決まりました。  
8月9日に埼玉で開催された全国英語教育学会で、2025年最優秀論文として「学会賞」を受賞しました。（私ではなく次男です）
- 山崎 太幹君 8月2日に開催された「元気ッス！へきなん」に三菱UFJ銀行チームで参加しました。なんと「ベストスマイル賞」をいただくことができました！  
碧南に「スマイル」を届けられるよう、引き続き頑張ります！
- 竹内 康人君 本日の卓話講師 杉浦晴太郎さんを紹介します。

## 卓 話

### 「地域の青年会議所と日本青年会議所」

公益社団法人日本青年会議所 東海地区 愛知ブロック協議会  
2023年度会長 杉浦晴太郎様



杉浦晴太郎様

それでは、始めさせていただきます。

伝統ある碧南 RC の例会の卓話講師としてお招きいただき、誠にありがとうございます。  
黒田会長、会員の皆様、本当にありがとうございます。

改めまして、杉浦晴太郎と申します。41歳です。碧南駅の近くに会社があります杉治株式会社に所属しております。青年会議所での歴は先ほどご紹介いただきましたが、2021年に碧南青年会議所の理事長、2023年に愛知ブロック協議会の会長を務めさせていただきました。

さて、「15215」という数字は何かおわかりになりますでしょうか？わかる方はいないと思います。これは私が生まれてから本日まで生きてきた日数です。41年と7ヶ月と27日。私に関わってくださった全ての人のおかげで、今ここに立っております。皆様のお役に立てるように最善を尽くしてお話させていただきます。

続きまして、本日の同行者を紹介させていただきます。丸八重整備株式会社の杉浦慶樹君と碧南小型運送株式会社の角谷瞬君です。彼らは将来の碧南 RC の会員です。私になんの権限もありませんけれども、強く推薦致します。

そもそも青年会議所とはということで、世の中の問題を改善・解決のために運動を起こす団体です。ここでいう「運動」とはスポーツではなく、「ムーブメント」、すなわち社会に新しい流れを生み出す活動を指します。特定の人や集団の意識や行動を変えることを目的としております。私たちが何か運動を発信して、そこに関わった人の意識と行動が変わらないとすると、それは運動ではなくてイベントということになります。そうならないよう、真の運動を作っていくことが重要です。

青年会議所の活動は、戦後間もない 1949 年に東京青年会議所が設立されたことに始まります。その後、各地に広まり、全国的な連携の必要性から 1951 年に日本青年会議所が誕生しました。さらに同年、日本はカナダで開催された世界会議に代表団を派遣し、国際青年会議所（JCI）へ正式加盟致しました。

戦後復興の最中、日本が国際社会に復帰する前に青年会議所という若い団体が国際舞台に立ったことは、歴史的にも大変意義深い出来事であります。世界会議の開会式で国際青年会議所の会頭が「JC には国境も民族もない。それは全世界の青年のものである。その誇りにおいて、我々は今ここにかつての敵国日本の JC 代表団を心からなる歓迎をもって迎えようとする。」という言葉が述べられました。この出来事は日本の青年運動にとって誇るべき歴史でございます。

続きまして、碧南青年会議所の目的は、

- ・経済、社会及び文化に関する諸問題について調査研究し、諸団体と相協力して地域の発展を図ること
- ・指導者訓練を基調とした修練及び社会への奉仕を図ること
- ・公益社団法人日本青年会議所及び国際青年会議所の機構を通じて、日本及び世界の青年会議所と提携し、国際的理解及び国際親善を助長し、世界の繁栄と平和に寄与することになります。

現在、全国に 671 の地域青年会議所がありまして、各地から人材と資金を集めて日本青年会議所が成り立っております。組織は全国を 10 地区に分け、さらに 48 ブロックに分けてブロック協議会を設置して運営しております。東海地区協議会には、愛知ブロック、岐阜ブロック、三重ブロック、静岡ブロックの 4 ブロックで構成されております。

私は 2023 年、愛知ブロック協議会会長として、愛知県内 1914 名の代表を務めました。その 1 年間において掲げた方針は、

- ・地域の魅力と国際視点を活かした地域経済の充実
- ・土台固めによる地域の強化
- ・未来を担う人材の確保と育成による組織の発展
- ・青年会議所の存在価値の向上
- ・機動的で盤石な組織の運営

になります。具体的にはネパールでの国際事業、ウクライナとの協力活動、インドネシアやスイスにおける愛知の魅力発信などを行いました。また、入会 3 年未満の会員を対象とするブロックアカデミー委員会を通じて、地域に根差したリーダー育成にも力を注ぎました。

大切な心構えとして、私は次の 3 つを大事にして活動しておりました。

- ・目の前の機会に全力で取り組む
- ・関わる全ての人と誠実に接する
- ・どんな時でも明るく前向きに

これらは青年会議所活動に限らず、日常生活や仕事においても大いに役立つと思っております。

青年会議所における経験は、思考力、行動力、リーダーシップ、組織運営力、そして、国内外の信頼関係や人脈といった未来を生き抜くための力を授けてくれます。もし皆様の周囲に40歳までの若い方がいらっしゃいましたら、ぜひ碧南青年会議所をご紹介いただければ幸いです。

在籍10年間の活動を振り返りますと、現在の私があるのは多くの仲間と先輩方、関係者の方のご支援のおかげにほかなりません。私にとって青年会議所とは「人生そのもの」です。

碧南青年会議所は現在、会員数30名と決して多くはありません。しかし、その活動は力強く続けられております。今後とも碧南RCの友好団体として、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後に会員の皆様の社業のさらなる発展を心より祈念申し上げます、卓話を終了させていただきます。

本日はありがとうございました。

## 次回例会案内

令和7年9月10日（水）

卓話「池坊いけばな ～花に学び、心を整える日本の伝統文化～」

華道家元池坊いけばな教授 岩瀬美香氏